

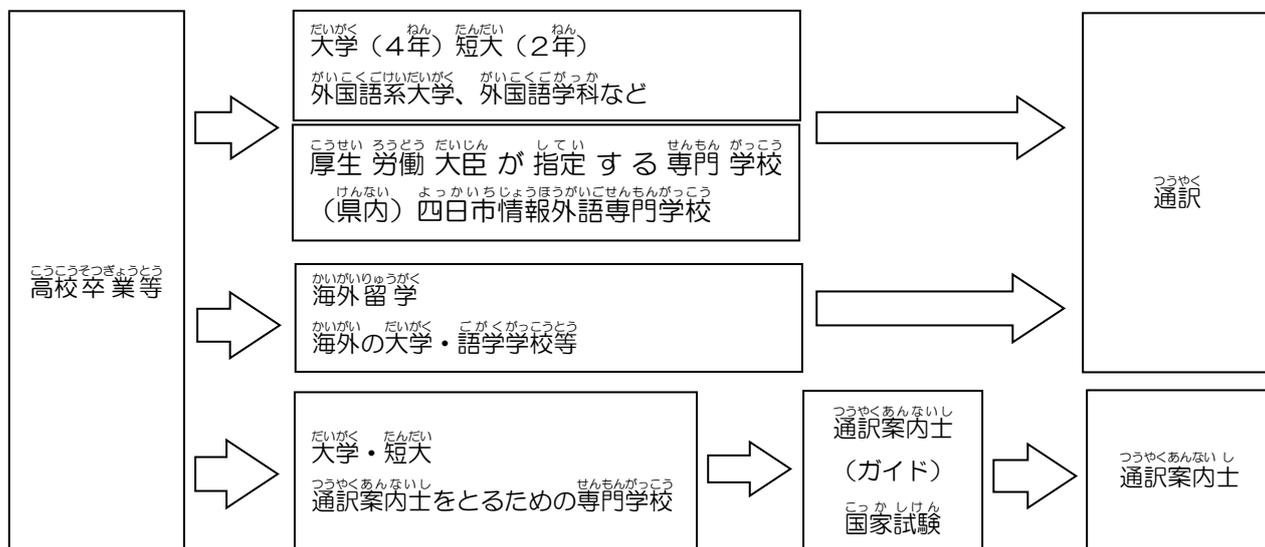
39 つうやく 通訳



通訳は言葉が違う国の人と話すために必要な職業です。外国から来る観光客の案内や商談、会議などで活躍できる仕事で、日本と外国の橋渡しをするやりがいのある仕事です。

また、日本に住む外国人にとっても、病院や学校など生活のいろいろな場面で必要とされています。通訳をするには、日本語と外国語を話せるだけでなく、専門的な知識や技術が必要です。通訳の仕事をするには、特に資格は必要ありませんが、通訳になるためには、高い語学力とともに言葉のニュアンスや話し手の感情や雰囲気を感じる観察力も必要となります。

通訳になるには



<早くから準備をしましょう>

通訳になるためには、2つ以上の言語の習得が必要です。日本語への変換(翻訳・通訳)には高い日本語能力も必要です。早くから日本語や学校の勉強、母国語の上達に心がけましょう。

また、本格的に外国の言葉や文化等を学ぶなら、大学や専門学校に入ったり、海外に留学したりすることが有効です。学費や渡航代等の準備を早くからしましょう。

<資格を取れば どのくらいどこに就職できるの？>

通訳派遣会社に登録をして、仕事を斡旋してもらう方法が一般的です。

フリーとして通訳の仕事をする人もいます。通訳が求められる場面には、「会議通訳」、「ビジネス通訳」、「スポーツ・芸能通訳」、「通訳案内業」などがあり、外国から来る観光客に通訳ガイドをする「通訳案内士」になるには、国家資格が必要です。

<費用(学費)はどれくらい？>

国公立大学で240万円以上(4年間)、私立大学では400万円以上(4年間)かかります。

短大では、180万円以上(2年間)かかります。